

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

# まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

## 第212号

令和4年(2022)10月発行

### 発行・事務局

◎ 荏原第一地域センター ◎

小山3-14-1 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

## 花めぐり

### ヤブラン (リリオペ)

風に秋の気配を感じる頃、美しい葉の中から薄紫の花穂がいくつも立ち上がります。

写真のような斑入りのヤブランは園芸種で、他に濃い青紫の花や白色の花もあるようです。

青葉のヤブランは、日本各地の林などで見られる常緑の多年草で、藪に生え、葉がランに似ていることが名前の由来です。8月～10月頃に薄紫の花を咲かせ、やがて光沢のある黒い実をつけます。しかし、黒い実に見えるのは種で、実の皮が早く落ちて種がむき出しのまま成長するという変わった性質があります。また根には、肥大する部分があります。それを乾燥させて漢方薬として使うことがあります。

花言葉は「忍耐」「謙虚」。

(小山一丁目・河原 マサ江)



令和4年9月3日  
後地小学校にて撮影

## 二度目の東京オリンピック



古い衣類や、使い古しのカバンなど、次々とゴミ袋に放り込みました。衣装ケースの下の方から、ビニール袋に入った日の丸が付いた白いTシャツが出てきました。すっかり忘れていましたが、広げてみると、私が高校生の時に、東京オリンピックの聖火ランナーを務めた時のTシャツでした。

明治と昭和初期は荏原地区のほとんどが農地や雑木林として利用されてきました。その後、大正12年に目蒲線、昭和2年に大井町線、池上線が開通し、駅周辺を中心に商店街が形成されました。さらに昭和初期から町工場が立地し始め、昭和40年代にかけて住宅、工場共存の市街地が出来上がりました。

### 日本のものづくりを支えてきた町工場

荏原第一地区小山四丁目ではその頃、数十軒の工場が建てられ、ほとんどが住宅地の一角、住居兼用として稼働していました。町内を歩いてみると「トントン」「ブーン」「キーン」と小気味よい音が工場から聞こえてきます。知り合いの職人さんにお話を聞いてみると金属加工品の製作しているところでした。そこで、とても難しいような図面を見せていただきました。

## 高齢者クラブ紹介

### 西部二寿会 (小山二丁目西部町会)



小山二丁目西部町会に住居を置く60歳以上の人を対象に、友愛、福祉、親睦をモットーに、昭和54年8月に総勢105名の会員で発足しました。

西部二寿会の行事として、春は花づくり推進、お花見会、防災訓練、夏は盆踊り納涼会、秋はお祭り、芸能大会、冬は新年会、輪投げ会等のサークル活動をしています。

定期活動として、役員会を月1回開催し、カラオケの練習、輪投げ又はボッチャ、お稲荷さんの手入れをそれぞれ月2回、お地蔵さんの掃除およびクマさん広場と緑道の花壇の手入れは毎日実施しております。

日頃から草花の手入れをすることで、緑道化していく町並みを間近で見ることができます。結果として、楽しみながら手入れができ、毎日の健康増進にもつながっているように思います。

皆様の入会をお待ちしております。

(西部二寿会会長・本間 恵也)

別の工場でも、ガスホースのバルブやアルミの加工品などを製作しています。町工場では熟練技術者が長年にわたって「人」にしかできない仕事に携わっています。仕事を覚え始めた頃、近所の先輩の職人さんに加工のコツを伝授してもらったと聞き、技術は継承されていることを認識しました。大きな機械の中の小さな部品ではありますが、図面通りの超精密な加工技術の結晶が大きな機械を動かしているのです。改めて、町工場が支えてきたものづくりの偉大さに驚かされました。

ご近所の工場を覗いてみませんか。職人さんの、部品に対する愛着心に触れることができると思います。  
(小山四丁目・東美佐栄)

### シリーズ 品川平塚剣友会⑧

「未たる審査会」

6月24日に総合体育館にて待ちに待った審査会が行われました。本審査会にて10名が初陣を飾りました。審査会とは、技量の区分も有りますが、竹刀による実技と木刀による形の審査が有り、段位には学科も含まれます。其れだけに、教わる方も指導をする先生も気持ちを一気にします。子どもは合格を喜び、指導者はその成長を見て喜びを感じます。剣道の良さの所以でしょうか。

指導者一同感動する瞬間です。普段の教えが違っていたり、5級から1級まで13名、でもありません。5級から1級まで13名、母子で始めたお母さんは、念願の有段者として合格。1級の中学生は来年には初段に挑戦します。皆、品川平塚剣友会を盛り立ててくれるメンバーです。

今年の目標であり、念願の日本武道館で、少年少女剣道連成会に参加します。来年の目標は、40周年記念大会をさやかに行う事です。全日本剣道連盟から表彰される『少年剣道教育奨励賞』の推薦を頂いております。次回の報告が出来ればと思います。子どもたちと稽古に励んでまいります。

(荏原三丁目・池田 晴夫)



審査の結果、皆合格致しました。普段の稽古で心配していた子もいました。その心配を払拭してくれました。実力のあつた子は立派に立ち回りをし、実力を発揮し、心配な子は大きな声を出して戦ってくれました。